

エンドユーザー コンピューティングソリューション

クライアントPC／モバイルデバイスの効果的な導入・運用における課題と解決策

デルでは、すべての企業・組織におけるエンドユーザーの生産性向上と、情報システム担当者の管理負荷を軽減するための、最適なデスクトップ、モバイル環境を実現する多彩なエンドユーザーコンピューティング(EUC)ソリューションをご用意しています。



課題 システムの更新や新OSへの対応にかかる費用や時間を削減したい

解決策 最新のクライアントPC環境へ移行するためのデルのソリューション



課題 クライアントPC管理にかかる多大な運用負荷とコストを抑制したい

解決策 豊富な管理機能を備えたデルのクライアントPC製品とマルチOS対応のシステム管理アプライアンス



課題 いつでもどこでもどの端末でもオフィスと同様のクライアント環境を構築したい

解決策 より柔軟なクライアント運用を実現するデスクトップ仮想化ソリューション



課題 スマートフォンやスレートPCを効果的に活用したい

解決策 多彩なモバイルデバイスに対応したデルの無線LANソリューション

デルのエンドユーザーコンピューティングソリューション



課 題

システムの更新や新OSへの対応にかかる費用や時間を削減したい

解決策

最新のクライアントPC環境へ移行するためのデルのソリューション

デルは大規模なクライアントPCの複雑な管理を効率化し、同時に利用者の生産性向上を実現するため、最新のMicrosoft® Windows®の最新OSへの移行をはじめ、ハードウェア、アプリケーションに至るまで、お客様にとって最適なデスクトップ環境を実現するための「Optimaized Desktop アセスメント」サービスを提供しています。Windows最新OSへの対応計画など、次に何をやれば良いかを明確にするとともに、既存のコスト構造改善、生産性向上、将来の計画立案などにご活用頂けます。



Optimaized Desktop アセスメント

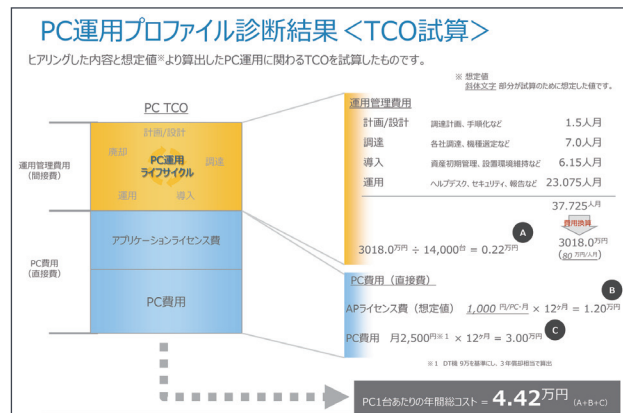
アウトプットとスケジュールの例

成果物:アセスメント報告書

- PC環境成熟度診断結果
- PC環境成熟度のOM(最適化モデル)分析
- 成熟度分析の結果および将来の方向性
- PC運用プロファイル診断結果
- PC運用概観
- 負荷状況
- 工数算定表
- TCO試算
- 課題に対する取り組み

スケジュール

- KickOffからご報告まで3週間程度



課 題

クライアントPCの管理にかかる多大な運用負荷とコストを抑制したい

解決策

豊富な管理機能を備えたデルのクライアントPC製品とマルチOS対応のアプライアンス製品



KACE

システム管理には、ハードウェアとソフトウェアの資産管理からパッチの適用、ソフトウェアの配布、OSの導入などさまざまな管理業務があります。Dell KACEシリーズのシステム管理アプライアンスは、このようなニーズにお応えする低コストで使いやすいソリューションです。さらにインテル® vPro™ テクノロジーとの連携により、OSがブートしない状態でも、システムの発見やリカバリ等が可能です。

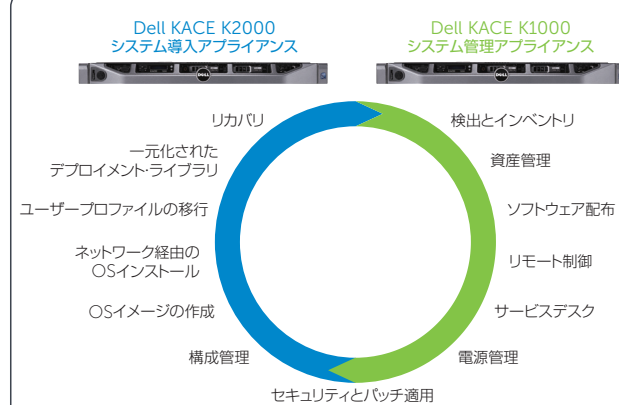
Dell KACEのメリット「工数のかかるクライアントの運用管理をアプライアンスでシンプルに!」

デルのクライアントPCを使用していれば、さらに運用管理の負担を削減!

- 保証情報の一元化: 個々の製品のサービスタグから出荷情報、サービスの開始日、終了日などが一元化
- BIOS/ドライバアップデート: 最新のBIOS/ドライバを常にインポートし、Dell KACEでアップデートすることが可能
- リアルタイムのイベント通知: IT Assistant(Open Manage Essential)との連携でHDD抜き取りなどのイベントを管理者に通知
- CFI(お客様向けコンフィギュレーション・サービス)をより自動化: 効率的なイメージキャプチャでCFIをよりシンプルに

Dell KACEシリーズの特長

- ①容易な操作性
高度な管理もWebインタフェースにより直感的に操作
- ②複数のサーバが不要なオールインワン
システム管理の課題を解決する機能が事前に統合
- ③他社の1/3~1/10の低コスト
追加のハードウェア、ソフトウェア要件が不要なアプライアンス製品。導入、および3年間の運用コストは他社の3~10分の1
- ④マルチOS対応
1台でWindows、Linux、Mac OSにも対応



デルのクライアントPC「OptiPlexシリーズ」「Latitudeシリーズ」は、効率的な運用管理、高水準のセキュリティの維持、省電力化など、さまざまな課題を解消する「第2世代インテル® Core™ vPro™ プロセッサ・ファミリー」を搭載し、次の機能を提供しています。

- 紛失や盗難時にPCを無効化
- 悪意のあるソフトウェアから重要なデータを保護
- 1台のコンピュータで複数のOSを並行に動作
- 資産管理やトラブル時のPCのリモート管理を実現



The power to do more



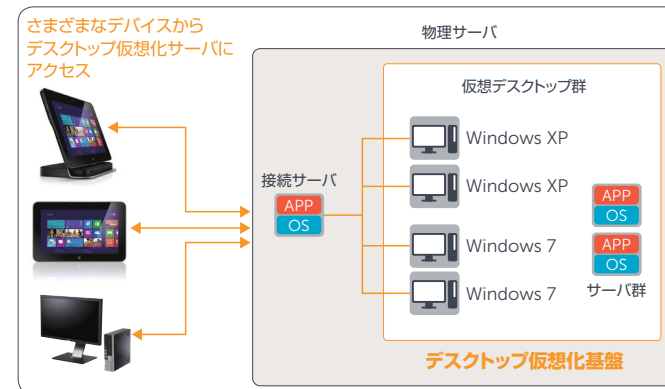
課 題

いつでもどこでもどの端末でもオフィスと同様のクライアント環境を構築したい

解決策

より柔軟なクライアント運用を実現するデスクトップ仮想化ソリューション

デルのデスクトップ仮想化ソリューションを活用することで、スレートPCやスマートフォンに代表されるさまざまなデバイスから安全かつ柔軟に企業内ネットワークへアクセスすることが可能になります。また、不特定多数の利用者がいる環境においてもセキュリティが確保されるうえ、サーバ上でのアプリケーションの一括配信や迅速な端末環境の展開により、運用管理負荷の大幅な軽減だけでなく、事業継続計画(BCP)対策にも有効です。



多様なデスクトップ仮想化ソリューションに対応



課 題

スマートフォンやスレートPCを効果的に活用したい

解決策

多彩なモバイルデバイスに対応したデルの無線LANソリューション

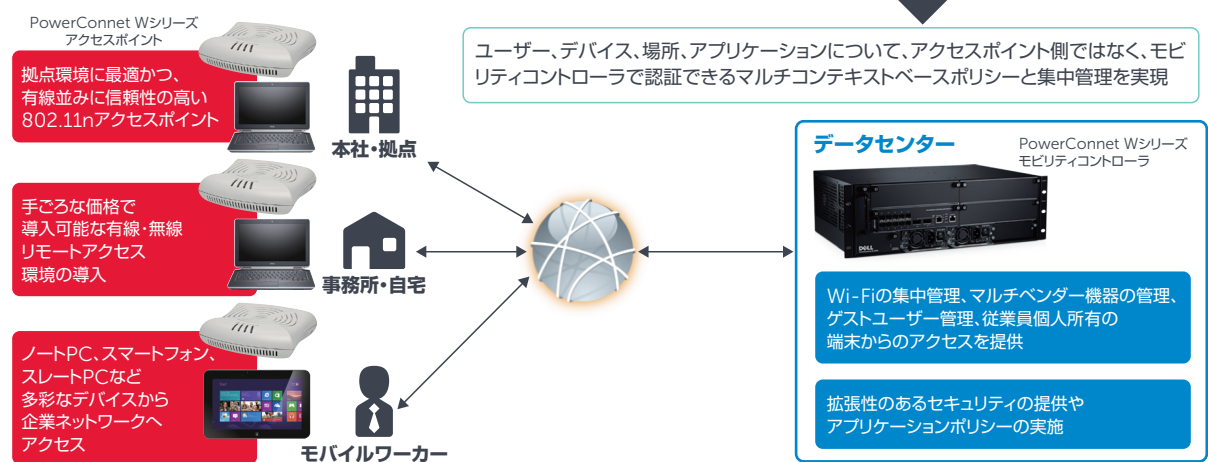
スマートフォンやスレートPCの種類、利用できるアプリケーションやサービスが増加するに伴い、そのユーザーも急増しています。そうしたユーザーから浮上しているニーズが、スマートフォンやスレートPCの業務活用です。それらの多様なデバイスを企業ネットワークにアクセスさせるためには無線LAN環境において、帯域幅の適切な振り分け、セキュリティの確保、多彩なモバイルデバイスに対する認証といったさまざまな要件を満たさなければなりません。こうしたニーズに応えるため、デルでは、さまざまな企業や組織への高い導入実績を誇るアルバネットワークス社製の優れたワイヤレス技術製品を「PowerConnect Wシリーズ」としてOEM提供しています。

モバイルデバイス活用のトレンドの変化

- Fortune 100社
80%の企業でiPad、iPhoneを導入済み
- スマートフォン
28,900万ユニット(2010年)→96,500万ユニット(2014年)
Source: Gartner, Inc., Forecast: Mobile Devices, Worldwide, 2007-2014, 4Q10 Update, 14 December 2010 ID: G00209608
- タブレット端末
5,480万ユニット(2011年)→20,800万ユニット(2014年)
Gartner Press Release, Worldwide Media Tablet Sales on Pace to Reach 19.5 Million Units in 2010, 15 October 2010 ID: G00209608
- 企業向けマルチメディア、カスタムアプリケーションの活用増
- ソーシャルビジネスやコラボレーションの進展
- 仮想デスクトップの導入増

エンドユーザーからIT部門へのモバイルアクセスの要求

- 個人のスマートフォンやスレートPCを業務で使いたい
- 自宅で仕事がしたい、社外から社内メールがみたい
- ビデオ会議などマルチメディアアプリケーションを使いたい



クライアント環境からサーバ、ストレージまで、トータルソリューションを提供



The power to do more



導入事例 マツダ株式会社

課 題

システムの更新や新OSへの対応にかかる費用や時間を削減したい

解決策

ホワイトカラー層の生産性向上を改革のテーマとして、
Windows 7 Enterpriseをベースにデスクトップ環境を全面刷新

マツダ株式会社は、グローバルな市場での競争力を維持するための絶え間ない改革が必須であり、特にホワイトカラー層の生産性向上が急務となっていた。そこで、2010年12月に社内のデスクトップ環境の全面刷新に着手。Microsoft® Windows® 7 Enterpriseを搭載した最新PCへのリプレースを通じて、オフィスワーク改革を促していくIT基盤づくりを実現した。

課題

- Microsoft® Windows® XPをベースとした既存クライアントPCの老朽化が進み、部門間の格差も拡大していた。
- ホワイトカラー層の生産性を向上するため、オフィスワーク環境の改革が急がれていた。

ソリューション

- 国内に展開している約14,000台のクライアントPCのうち、Microsoft® Windows® 7 Enterpriseを搭載したデルの最新PCマシン「OptiPlex 990」を8,000台導入。その他、グラフィックス用など特殊な用途にハイスペック機、堅牢型ノートブックPC、モバイルノートなど、2,000台を導入。
- Windows Optimized Desktop Serviceによるアセスメントを実施し、既存のPC環境の現状分析を行うとともに、Windows 7 Enterpriseをベースとしたデスクトップ環境の理想的な運用形態を提示。

導入効果

- Windows 7 Enterpriseならびに第2世代インテル® Core™ i5プロセッサを搭載した最新PCにより、パフォーマンスと使い勝手を向上。
- 省電力性能を追究したデルのPCにより、環境負荷や電力コストの大幅な削減を見込む。
- マイクロソフトのSCCM(Microsoft System Center Configuration Manager)を活用し、IT資産管理やセキュリティ管理を実現

導入システム

ハードウェア

Dell OptiPlex×8,000

ソフトウェア

Microsoft® Windows 7 Enterprise
(Windows 7 Professional Editionをベースにソフトウェア
アシュアランスでアップグレード)

カスタマー・プロファイル

企業名 マツダ株式会社

主な事業内容 乗用車・トラックの製造、販売など

本社所在地 広島県安芸郡

設 立 1920年1月30日

Webサイト www.mazda.co.jp/



導入事例 横手市

課 題

いつでもどこでもどの端末でもオフィスと同様のクライアント環境を構築したい

解決策

サーバおよびデスクトップ環境を仮想化
“攻め”の自治体運営も可能な柔軟なシステム基盤を実現

秋田県の中核都市の1つである横手市は、周辺自治体との合併により2005年10月に新制横手市と発足した。従来よりコスト削減と効率向上を実現するためのIT環境の整備に取り組んできたが、新たな課題として浮上していたのが、庁内業務や住民サービス向けシステムの新設等に伴うサーバの乱立だった。こうした課題を解消するため横手市はサーバ仮想化に取り組むことを決意、併せて、職員の業務効率を高めるために、デスクトップ仮想化に乗り出す決断を下した。

課題

- 住民サービスの向上を目的としたITの積極的な活用がサーバの相次ぐ増設を招き、運用管理負荷が増加していたほか、基幹システムのリプレースを翌年に控えた2010年にはサーバルームのスペース不足が予見され、これ以上の増設が困難な事態に見舞われていた。また、一部の職員に対して業務別に2台のクライアントPCを配布していたものの、異OSが混在し、複数機種のマスタ管理や各種ソフトウェアの運用に多大な手間を要していた。

ソリューション

- ブレードサーバ「PowerEdge M1000e」および「PowerEdge M610」、仮想化ソリューション「VMware vSphere」、iSCSI ストレージ「Dell EqualLogic」による仮想サーバ／ストレージ環境の実現により、約40台の物理サーバを6基のブレードモジュールに集約。さらにクライアントPC「OptiPlex 790」と「VMware View」を用いたデスクトップ環境の仮想化でクライアントPCの増設を抑制するとともに、柔軟性と拡張性の高いシステム環境を実現。

導入効果

- VMware vSphereを用いたサーバ仮想化により、リプレース対象のサーバをPowerEdge M610上に集約し、設置スペースを9分の1に削減
- VMware Viewを用いたデスクトップ仮想化により、職員に配布するクライアントPCの台数を約20%削減、運用管理の効率化を実現
- システムの新規導入にも柔軟に対応可能な基盤を確立

導入システム

ハードウェア

Dell PowerEdge M1000e ×1

Dell PowerEdge M610 ×10

Dell OptiPlex 790 ×1,300

Dell EqualLogic ×4

ソフトウェア

VMware vSphere

VMware View

カスタマー・プロファイル

組織名 横手市総務企画部情報政策課

業 種 公共機関

地 域 秋田県

市 制 2005年

Webサイト www.city.yokote.lg.jp/



導入事例 トヨタ部品愛知共販株式会社

課 題

クライアントPCの管理にかかる多大な運用負荷とコストを抑制したい

解決策

「Dell KACE K1000」の導入で
PC管理の負荷を大幅軽減

自動車の純正部品、用品、鉱油およびタクティ商品などの販売を主軸として、愛知県を商圏にビジネスを展開するトヨタ部品愛知共販株式会社。近年、同社では社内でのさまざまな部署の業務効率化を図るため、ITのさらなる活用を積極的に推進してきた。そうした中で、課題として浮上していたのが、社内に設置された400台強にのぼるクライアントPCの運用管理の効率化である。限られた情報システムスタッフの運用管理にかかる負荷を削減するため、同社では2012年度における情報システム強化策の1つとしてクライアントPC管理環境の整備を掲げ、自社のニーズに最も適合するシステム管理ツールの導入を決定。そこで選択されたのが、デルのシステム管理アプライアンス「Dell KACE K1000」だった。

課題

- Windowsアップデートやセキュリティファイルの更新などを人手によって行っていたため、その作業に多大な負荷と時間が発生していた
- 導入後のクライアントPCの管理を現場に一任していたため、厳密なIT資産管理が困難な状況にあった
- コンプライアンスの観点からもソフトウェアのライセンス管理の徹底が求められていた

ソリューション

- システム管理アプライアンス「Dell KACE K1000」の採用

導入効果

- Dell KACE K1000の導入により、クライアントPCのファイル更新作業が容易に
- Dell KACE K1000により、クライアントPCのタイムリーかつ適切な資産管理が可能となり、コンプライアンス対策も実現

導入システム

ハードウェア

Dell KACE K1000

Dell Latitude

Dell XPS

カスタマー・プロファイル

組織名 トヨタ部品愛知共販株式会社

業 種 自動車の純正部品、用品、鉱油およびタクティ商品などの販売

地 域 愛知県名古屋市

社員数 642名(2012年1月末現在)

Webサイト www.aichi-kyohan.co.jp/



導入事例 長崎大学 熱帯医学研究所

課 題

スマートフォンやスレートPCを効果的に活用したい

解決策

無線LAN環境のほか、
屋外でも手軽に利用できるデルのスレートPC

長崎大学 熱帯医学研究所の歴史は、1942年の長崎医科大学附属東亜風土病研究所の設立に始まる。現在、熱帯病の中でも最も重要な領域を占める感染症を主とした疾病と、これに伴伴する健康に関する諸問題を克服するため、関連機関との協力の下、「熱帯医学及び国際保健における先導的研究」「研究成果の応用による熱帯病の防圧ならびに健康増進への国際貢献」、そしてこれらに関する「研究者と専門家の育成」を目指した研究、活動を続けている。そうした長崎大学 熱帯医学研究所における重要な活動の1つが、ケニアをはじめとした熱帯地域における現地調査である。熱帯地域という過酷な環境の中においても、スムーズな調査活動を可能とするモバイルデバイスとして選択されたのが、Microsoft® Windows® 7 Professionalを搭載したデルのスレートPC「Latitude ST」だった。

課題

- 熱帯地域での感染症等の調査活動において、過酷な状況下にあっても安定して利用できる、耐久性の高い、かつ高性能なモバイルデバイスが必要とされていた
- 調査用アプリケーションの開発、運用において、使いなれたプラットフォームが求められていた

ソリューション

- 長時間バッテリー、高耐久性の画面、最新のCPUと大容量SSDを搭載したデルの高性能スレートPC「Latitude ST」を導入。
- システム開発において多くの技術者を擁するWindows OSの採用

導入効果

- 最新CPUによる高いパフォーマンスと大容量SSDの搭載により、よりスムーズな調査の実現に期待
- エンジニアが使い慣れたWindows OSの採用により、システム開発にかかるコストと期間を抑制

導入システム

ハードウェア

Dell Latitude ST ×55

ソフトウェア

Microsoft® Windows® 7 Professional

カスタマー・プロファイル

大学名 長崎大学 熱帯医学研究所

業 種 教育・研究機関

所在地 長崎市

設 立 1942年

Webサイト www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nekken/

多彩なコンサルティングメニューを用意、 効率的なEUC導入や運用を支援

デルは、効率的なEUCの導入や運用をサポートするための多彩なコンサルティング、エンジニアリングメニューを用意しています。アプリケーションの使い方や簡単な設定などの初歩的なものから、システムの保守・運用・管理、さらには最適なインフラの設計・構築まで、幅広い領域にまたがり対応できるのが特長です。



Optimized Desktop サービス

ヒアリングベースで短期間に現状のPC管理のプロセス、負荷状況などを可視化し、自動化やTCO削減のポイントとなりうる要素を分析します。最適なインフラや、PC展開・移行計画を含めた、Microsoft® Windows® 7への対応計画など、次に何をやれば良いかを明確にします。既存のコスト構造改善、生産性向上、将来の計画立案などにご活用頂けます。



デスクトップ仮想化ソリューションの導入計画評価のITコンサルティング

デルのデスクトップ仮想化ソリューションでは、デルのデータセンターおよびお客様の環境において、意志決定コンサルティングから、実証済みのデルの仮想デスクトップソリューションの運用管理とサポートまで、仮想デスクトップの導入や運用に関してエンドツーエンドの枠組みを提供します。



無線ネットワーク コンサルティングサービス

「導入前無線環境アセスメント」「簡易アセスメント(机上ベース)」「ネットワーク設計、導入計画」など、無線ネットワークインフラを新規でご導入を検討されているお客様、既存インフラにご不満を感じているお客様に、最適な無線ネットワーク環境構築のサポートをさせていただきます。



グローバルサービス

全世界で24時間365日の稼働体制、世界50カ国に現地法人、180カ国以上に販売活動を展開。世界約60カ所のテクニカルサポートセンター、世界7カ所のグローバルコマンドセンターなど、デルのグローバルネットワークを活かし、お客様の海外拠点でソリューションとサポートを提供します。



CFI(カスタム ファクトリー インテグレーション)

お客様の環境にあわせて、お客様で自身が作成されたディスクイメージをデルの工場ではプリインストールし、設定までを完了させた状態でお客様へ直送します。お客様が作成されたディスクイメージのクローンPCを必要な数だけ一括導入でき、導入時の労力、時間、コストの大幅削減が可能です。



Computrace One / Computrace Data Protection

Absolute® Softwareの Computrace® 製品群を使用すると、「アプソリュート・カスタマー・センター」でお客様のIT資産を一元管理できるようになります。このインターフェース上では、紛失中のあらゆるコンピュータの所在地を特定したり、ソフトウェア・ポリシーを適用したり、動作中のデバイスを最適な構成で維持したりすることができます。また、万一盗難に遭った場合にもComputrace がコンピュータの復旧に威力を発揮します。

ハードウェアプラットフォームから運用管理、サービスまで、トータルソリューションを提供

効果的なエンドユーザーコンピューティングを実現していくためには、サーバ、ストレージ、ネットワーク等のハードウェアに加え、サービス、運用管理といったトータルでのシステム導入、運用を考慮しなければなりません。デルはハードウェアプラットフォームからサービス、運用管理まで、お客様のシステム構築、運用ニーズに応える製品、ソリューション、サービスをラインナップに揃えています。



PowerEdgeサーバシリーズ



エンタープライズストレージCompellent



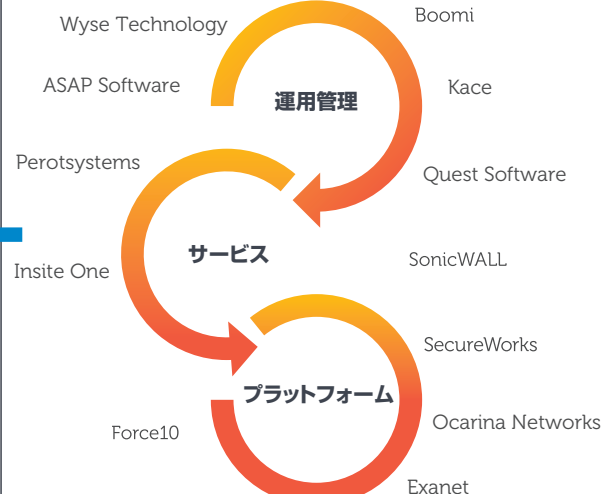
iSCSIストレージ
Dell EqualLogic



PowerConnect ネットワークスイッチ



デルのソリューション&サービス



法人・公共のお客様

最新の情報はこちらから
www.dell.co.jp

ご質問・ご購入相談(平日9:00-17:30 土・日・祝日休)
0120-912-099



●Compellent、EqualLogic、KACE、Latitude、OptiPlex、PowerConnect、PowerEdge、Precision、Streak、Dell ロゴは、米国Dell Inc.の商標または登録商標です。●Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。●本カタログに記載されている仕様は、2013年2月1日現在のものであり、予告なく変更される場合があります。最新の仕様については、弊社営業またはホームページにてご確認ください。

デル株式会社 〒212-8589 川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館20F Tel. 044-542-4047 www.dell.co.jp